

東京藝術大学連携40年展

藝 大 卒 展

2026.3.21 SAT (土) — 5.31 SUN (日)

9:00~17:00 最終受付 16:30

【休館日】 3/24(火)、3/31(火)、5/12(火)、5/19(火)、5/26(火)

【入館料】 一般800円(割引料金700円)、高校生以下及び18歳未満の方は入館料無料、障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は入館料無料、5/18(月)は、国際博物館の日により入館料無料

信州高遠美術館

へサテライトへ

藝大卒展

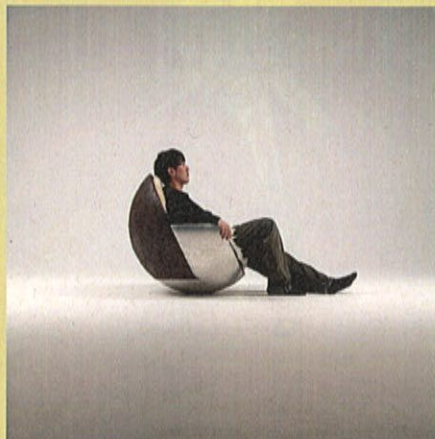
ヘサテライト

伊那市は、東京音楽学校（現東京藝術大学）の初代校長を務め、音楽教育の基礎を築いた高遠出身の伊澤修二の功績を顕彰する「伊澤修二記念音楽祭」を東京藝術大学音楽学部の学生たちを招いて1987年から毎年開催しています。また、美術館建設を契機に美術の分野でも、当時東京藝術大学学長の平山郁夫氏や宮田亮平氏らの絶大なる支援を得て、提携・協力を進めてきました。2026年が東京藝術大学との交流40年目にあたることを受け、この度、卒業・修了作品展（卒展）の一部を伊那市で開催する運びとなりました。毎年上野で行われる卒展は、学部と修士を合わせて約450名（美術学部・美術研究科のみ）の卒業生・修了生によるもので、年々盛り上がりを見せています。その中から各科各専攻の優れた作品を集めて長野の地でご覧いただきます。東京藝術大学における多様な表現の数々とエネルギッシュな作品をどうぞ堪能ください。

作家紹介

今井 菜々美 日本画 修士	立川 朋恵 日本画 修士	村松 辰之介 油画 学部
藤田 汐海 油画 学部	勝木 直人 彫刻 修士	雨田 まなつ 彫刻 学部
市丸 蓉 工芸・彫金 学部	蓮本 南欧 工芸・鍍金 学部	進藤 あすか デザイン 修士
後藤 拓真 デザイン 学部	棚田 悠介 建築 修士	三好 駿平 建築 学部
青木 諒花 先端芸術表現 学部	高田 清花 先端芸術表現 学部	篠崎 遥香 美術教育 修士
鶴田 千尋 文化財保存学・ 保存修復日本画 修士	畑山 樹 グローバルアート プラクティス 修士	

1. 後藤拓真《SO-GAN-双丸》2. 勝木直人《hollow shell「円柱」》
3. 今井菜々美《星を先に投げていた》4. 市丸蓉《拝啓 今を生きた私たちに》



1



2



3



4

関連イベント

●オープニング式典（申込不要）

日時 | 令和8年3月21日（土）10:00開会（9:00開場）
会場 | 信州高遠美術館ロビー
料金 | 入館料のみ

◎開会に先立ち東京藝術大学音楽学部学生によるピアノ独奏があります。

演奏 | 穂刈愛琳（音楽学部器楽科ピアノ専攻4年）
曲目 | 「F.ショパン ワルツ第4番 ヘ長調 作品34-3」
「F.ショパン 華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 作品22」

◎式典終了後に出品者によるギャラリートークを行います。

●日比野克彦学長によるトークイベント（要予約）

日時 | 令和8年3月28日（土）17:00～
会場 | 信州高遠美術館ロビー
料金 | 入館料のみ
定員 | 100名（定員に達し次第締切）
予約 | 2月27日（金）9:00～ 信州高遠美術館に電話申込

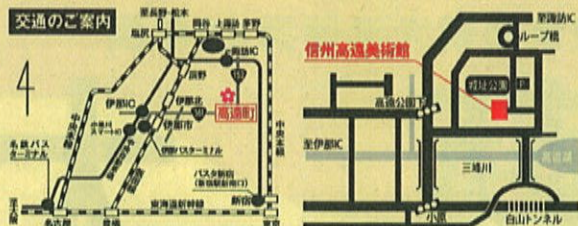


©Ayane Shindo



信州高遠美術館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠400番地
TEL 0265-94-3666
FAX 0265-94-3936
E-mail t-bjk@inacity.jp



交通のご案内
（有）車をご利用の場合
○伊那I.C. から国道361号を經由30分
○諏訪I.C. から国道152号を經由50分
○小黒川スマートI.C. から25分
電車・バスをご利用の場合
○伊那駅・スターミナール伊那北駅から高遠線JRバス25分で高遠駅。高遠駅から徒歩25分

※高遠城址公園さくら祭り期間中は交通規制・駐車場利用規制が行われます。さくら祭りの情報をご確認ください。



【主催】伊那市、伊那市教育委員会、信州高遠美術館【企画協力】東京藝術大学、（一社）東京藝術大学芸術創造機構【後援】長野県、信濃毎日新聞社、中日新聞社、読売新聞長野支局、朝日新聞長野支局、毎日新聞長野支局、時事通信社長野支局、共同通信社長野支局、信州・市民新聞グループ、アド・コマーシャル、アド・プランニング、（公財）信毎文化事業財団、（公財）八十二文化財団、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、長野日報社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合、信州美術会伊那支部、伊那美術協会、伊那市民美術会、伊那市観光協会

このチラシを1枚お持ちいただくと、入館料が100円割引になります。（1グループ様まで有効）

東京藝術大学連携40年記念

今年、東京藝術大学と伊那市（旧高遠町）が連携事業を始め、40年になります。そのことを記念して、令和4年に創造館に新しく収蔵された伊澤修二関連の写真を初公開します。

高遠藩出身で東京藝術大学の前身である東京音楽学校の初代校長として活躍した伊澤修二（1851-1917）の功績を顕彰するため、昭和62年に伊澤修二記念音楽祭を開催したことから、連携が始まりました。

伊澤修二は、日本の近代教育の先駆者であり、1875年から1878年まで文部省の命でアメリカに留学、マサチューセッツ州ブリッジウォーター師範学校で師範教育を学びました。その間、ルーサー・メーソン氏から西洋音楽の基礎を、また電話発明直後のグラハム・ベル氏から、視話法（口話法）を習得しました。帰国後「むすんでひらいて」「蛍の光」などの曲を日本に導入し、唱歌教育の基礎を築きました。更に、東京音楽学校（現・東京藝術大学）初代校長として西洋音楽教育を確立、東京盲啞学校校長、台湾総督府学務部長、東京高等師範学校校長などを歴任し、晩年にはベル氏から得た知見を基に、吃音矯正の先駆けとして「楽石社」を設立しました。

伊澤修二 新収蔵写真展示

特別展



明治31年11月、東京盲啞学校にてグラハム・ベル氏が講演会を行った際の記念写真。中央にベル氏、左隣に伊澤修二。

令和8年4月4日(土)～6月29日(月)

伊那市創造館1階特別展示室

午前10時から

午後 5時まで

※最終入場 午後4時45分

入場無料



明治44年、東京音楽学校講堂にて開催された還暦祝賀会における伊澤修二。